

第29回いせはら市展 写真部門

入賞者

| | | | |
|----------------------|--------|-----------------------|----------|
| 伊勢原市長賞 | 江頭 良弘 | 幽玄の世界大山へ | 大山駅バス停付近 |
| 伊勢原市議会議長賞 | 金澤 雅義 | わたしの水ふうせん | 市内高森 |
| 伊勢原市教育委員会賞 | 谷田部 卓 | Tulip/Estela lineveld | 自宅 |
| 優秀賞 (風景・ネイチャー) | 穂積 守久 | 荒ぶる | 神奈川県真鶴町 |
| 優秀賞 (風景・ネイチャー) | 鹿生 あや子 | 冬隣 | 青森県 |
| 優秀賞 (人物・スナップ・その他) | 倉田 えり | 「みんなでまってるよ」 | 秦野戸川公園 |
| 優秀賞 (人物・スナップ・その他) | 島田 雅裕 | 薫風に泳ぐ | 平塚市 |
| 審査員奨励賞 (風景・ネイチャー) | 石川 浩一 | 都会の夜、桜化粧 | 六本木さくら坂 |
| 審査員奨励賞 (風景・ネイチャー) | 高山 明照 | 舞う | 伊勢原市 |
| 審査員奨励賞 (風景・ネイチャー) | 佐藤 隆 | ホテルの楽園 | 二宮町 |
| 審査員奨励賞 (人物・スナップ・その他) | 富樫 正一 | 夫笑婦随 | 平塚 |
| 審査員奨励賞 (人物・スナップ・その他) | 山崎 雅翔 | ポーラの薔薇 | 自宅 |
| 審査員奨励賞 (人物・スナップ・その他) | 舞出 勉 | 稲穂に“オッス” | 市内池端 |

入選者

| | | | | | |
|--------|------------------|------------|-------|-------------------|-----------|
| 森下 敦 | スフィンクスとクス王のピラミッド | エジプト | 池田 克巳 | ガラスの中の銀河 | 伊東市 |
| 森下 敦 | 朝陽に染まるアブ・シンベル | エジプト | 池田 克巳 | 海を・・・やっつけろ | 茅ヶ崎市 |
| 曾我 博 | 暗夜光路Ⅱ | 四日市 | 和田 英明 | 稲穂に埋もれる地 | 伊勢原市神戸 |
| 曾我 博 | すご腕 | 富士スピードウェイ | 高山 明照 | 驚きの乱舞 | 伊勢原市 |
| 上田 雅貴 | 春空の下、悠々と広がる青の草原 | 松田町西平畑公園 | 沼田 勝子 | 日が暮れて | 北海道 |
| 上田 雅貴 | 夜空に輝く、春のダイヤモンド | 秦野市蓑毛 | 沼田 勝子 | 爽風流るる | 伊勢原市 |
| 野間 敦志 | 軌跡 | 板戸 | 青木 英雄 | 花火 (スターマイン) | 伊勢原市 |
| 谷田部 卓 | Rose/Nicole | 自宅 | 青木 英雄 | 節分祭 小学生の豆マキ | 伊勢原市下糟屋 |
| 穂積 守久 | 晩秋 | 長野県上高地 | 大室 幸子 | 春告げる梅 | 鈴鹿 |
| 茂泉 愛 | 雨上がり | 市内 | 山下 浩 | 古道 | 伊勢原市大山 |
| 迫田 哲郎 | 霧晴れ急ぐ | 尾瀬国立公園 | 山下 浩 | 追憶 | 千葉県富津 |
| 迫田 哲郎 | モルゲンロート浴びる | 北アルプス槍沢ロッヂ | 田中 芳孝 | 彩る春 | 平塚市 |
| 浅田 靖久 | はしれ！ プラレール | パシフィコ横浜 | 田中 芳孝 | 湘南の風物詩「ひらつか七夕まつり」 | 平塚市 |
| 鹿生 あや子 | ちいさなピース | 平塚市 | 岡村 安浩 | 水の造形 | 塚越公園 |
| 鹿生 文男 | 豊作を願って | 伊勢原市 | 蔭山 陽一 | 梅雨どきの散歩路 | 秦野市 |
| 鹿生 文男 | 「たおやかに・・・」 | 青森県弘前市 | 子安 和子 | プイリを持って・カイマナヒラ | 伊勢原総合運動公園 |

| | | | | | |
|-------|---------------------|-------------|--------|----------------|----------|
| 山本 修一 | それぞれの世界 | 栃木県栃木市 | 相庭 幸子 | 朝もやの中で | 上高地 |
| 山本 修一 | 冬の記憶 | 栃木県日光市 | 相庭 幸子 | 街角のビル | 東京・赤坂 |
| 柴田 富洋 | にあう? | 栃木県日光市 | 日高 龍博 | 初日の出 | 聖ヶ峰 |
| 柴田 富洋 | 戦闘機どこへ | 浜松 | 日高 龍博 | 結界へ | 道了尊 |
| 倉田 えり | 一歳になりました | 自宅 | 金田 昭夫 | 龍玉のパフォー マー | 中井町 |
| 今辻 浩一 | 夏のなごり | 神奈川県 | 飛田 繁男 | 紅桜の郷 | 南足柄市 |
| 真野 勝 | 湘南の佳夕 | 葉山森戸海岸 | 飛田 繁男 | モネに寄せて 水 蓮 | 平塚市 |
| 真野 勝 | 光芒の流れ | 神奈川県夕日の滝 | 須藤 佳絵 | うふふ | 伊勢原市大山 |
| 富樫 正一 | お花見 | 多摩市 | 須藤 佳絵 | よ! 粋だね | 伊勢原市大山 |
| 山口 一雄 | ステップ | 東京都千代田区 | 重田 浩之 | 神輿、大いに暴 れる。 | 大磯 |
| 山口 一雄 | 福を招く | 東京都世田谷区 | 重田 浩之 | 清浄 | 大磯 |
| 佐藤 隆 | 願いを込めて | 中井町 | 島田 雅裕 | でっかい奴キ ター!! | 大阪府 |
| 金澤 雅義 | 「うーんッ 見てッ」 僕の逆上り | 市内高森 | 小瀬村 一郎 | 手仕事のたのし み | 自宅 |
| 阿部 一郎 | 楽遊 | 秦野市 | 小瀬村 一郎 | 復活 | 西富岡八幡神社 |
| 阿部 一郎 | スフィンクス空撮 | 東武ワールドスクウェア | 舞出 勉 | 秋を泳ぐ | 十日町市の美人林 |
| 森 義晴 | 六月の伊勢原 | 伊勢原市 | 山崎 雅翔 | ディスタンス | 宮ヶ瀬ダム |
| 森 義晴 | 冬の洞爺湖 | 北海道洞爺湖 畔 | | | |

出品協力者

無鑑査

神戸 信義 滴 伊勢原市上粕屋 第12回、第14回市長賞受賞者

新城 英一 迷い 米沢市 第11回、第19回市長賞受賞者

池田 厚子 追憶 自宅 第10回、第21回市長賞受賞者

実行委員

中村 隆成 至福のとき 平塚

審査講評

《全体講評》

今年の特徴は、風景・ネイチャー部門が7割強、その他が3割弱、人物を中心とした街でのスナップ写真は皆無でした。ネイチャーは、オーソドックスな被写体を高い撮影技術で作品にしたものと、作者の自由な発想と感性で捉え表現したものに分かれました。スマートフォンなど撮影機材が進化している中で、既成概念にとらわれないで何に視点を当てどう表現するのか、オリジナリティーが入賞の分岐点となっています。

《伊勢原市長賞》

…江頭 良弘「幽玄の世界大山へ」…

下から上まで光と夜の暗い木々が合わさって続いていて、カラフルな美しい龍が天に昇っていくような雰囲気を感じられる素敵な1枚でした。単写真としての力も強く、構図もとても良かったです。また、幻想的なだけでなく、この場所に行ってみたくとも感じられて、多くの要素を含んでいる写真です。

《伊勢原市議会議長賞》

…金澤 雅義「わたしの水ふうせん」…

見事なスナップ写真です。一瞬の時間を止めて再現するという写真の力が発揮されました。動画では捉えることができない瞬間の素晴らしさと同時に、時間を記録する写真力が見事に発揮されました。

《伊勢原市教育委員会賞》

…谷田部 卓「Tulip/Estela lineveld」…

お花を撮影するとき、キレイに撮ろうとするあまり、ピントをしっかりと合わせすぎたり、画角に全てをおさめてしまいたくなりますが、この作品はピントの面白さや右側の部分を削っていたりと、作品において大事な作者独自の視点がしっかりと表現されていました。

《優秀賞》

…穂積 守久「荒ぶる」…

荒れる海は、従来から写真愛好家たちを惹きつけてきた被写体です。しかし入念な準備がなければ失敗するのもネイチャーです。夕暮れの斜光線による色合いと立体感を際立たせた撮影技術が光ります。

《優秀賞》

…鹿生 あや子「冬隣」…

いわゆる自然風景写真の中で、最初に目にとまりました。その後もまた目にとまり、ああ良いなあ、と感じる写真でした。風景は、どうしても絶景！キレイ！となりがちですが、この作品にはそうではない作者らしい視点があります。

《優秀賞》

…倉田 えり「みんなでまってるよ」…

何とも楽しい記念写真です。タイトル通りの気持ち画面から飛び出しています。記念写真の多くが義理や義務でピースサインをして表情がないケースが多い中、みんなが待っていると叫んでいます。

《優秀賞》

…島田 雅裕「薫風に泳ぐ」…

おそらく魚眼レンズかと思いますが、鯉のぼりが輪になっていることが、みんなで！と言っているような楽しさを感じました。気持ちのよい青空も相乗効果があり、太陽が鯉のぼりで隠れているのも、見やすさという点でも良かったと思います。

| | |
|---|---|
| <p>《審査員奨励賞》 …石川 浩一「都会の夜、桜化粧」…</p> | <p>《審査員奨励賞》 …高山 明照「舞う」…</p> |
| <p>画面の隅々まで計算した構成力が見事。桜を単純に美しいだけでなく六本木ヒルズに負けない力強さと存在感を引きだしました。さらに不思議な色合いで“都会”というフレーズが生きました。</p> | <p>花粉を抱いた蜜蜂を正確に捕まえました。「舞う」では意味合いが単純化されますが、写真には花粉を集める蜂の姿が雄々しく写っています。何が写っているかを吟味できたら一段上に行ったかもしれません。</p> |
| <p>《審査員奨励賞》 …富樫 正一「夫笑婦随」…</p> | <p>《審査員奨励賞》 …山崎 雅翔「ポーラの薔薇」…</p> |
| <p>演出されたのかそうではないのかわかりませんが、まるで昔のテレビドラマを見ているかのような、そして、タイムスリップしたような温かい感じを覚えました。左の壁の牛の絵や、右後ろにいらっしゃるご家族であろう方の立ち姿も効果的になっていて、とても面白い1枚です。</p> | <p>フィルムモノクロ時代に多く撮られた造形写真です。光の見方や明暗のグラデーションなど基礎技術が確立されました。いつの撮影か不明ですが、オートの時代にこの作品が展示されたことに市展の多様性を感じます。</p> |
| <p>《審査員奨励賞》 …佐藤 隆「ホタルの楽園」…</p> | <p>《審査員奨励賞》 …舞出 勉「稲穂に“オッス”」…</p> |
| <p>この写真を見たときに、真ん中の暗い部分に光が入っていくような感覚を受けました。同時に、ホタルたちに誘われ、別世界に連れていかれるような雰囲気も受けました。その先にはまた別のホタルの楽園があると思わせてくれるような写真でした。</p> | <p>不思議な写真です。単純に窓ガラスに自分の影を入れ撮ったのか、いやいや複雑な多重露光や画像ソフト使用の合成かなど、論議が出そうな作品です。稲の存在感と人物の滑稽さのアンバランスが面白いです。</p> |